令和8年度埼玉県クイーンズランド州スカラシップレポート

期間　7月21日(火)～8月5日(水)の16日間

小林珠綺

1 はじめに

この度埼玉親善大使として令和8年度埼玉県クイーンズランド州スカラシップに参加させていただきました、小林珠綺です。
はじめに、このような貴重な機会を設けてくださった埼玉県のみなさんや現地で私たちの生活を支えてくださった先生方、バディ、ホストファミリーをはじめとする皆様に感謝申し上げます。
私のブリスベンでの留学生活を綴ります。

2 Brisbaneについて

私たちはオーストラリアの東にあるクイーンズランド州の南東部に位置するBrisbaneに滞在しました。Brisbaneはクイーンズランド州の中心都市で街の中心をブリスベン川が蛇行して流れるとても美しいシティです。
私たちが行った7.8月はBrisbaneで言う冬で、朝晩は冷えますが昼は快晴の日が多く、日差しも強いため、半袖でもいいくらいの涼しく過ごしやすい気候でした。
私は朝晩は長袖長ズボンでも寒いと感じるほどだったのですが、お昼にセーターを着ていると暑く感じました。

3 学校について

私たちはBrisbane空港から車で15分ほどのYeronga高校に通いました。現地の先生がこの学校はいろいろなルーツを持つ人がいて留学生も頻繁に来ると言っていた通りで、たくさんの人と交流することのできる、フレンドリーな学校でした。
学校の資料によると、生徒たちは約65-70の異なる文化や言語的背景を持ち、多くの生徒が英語以外の言語を話すことができるそうです。
実際に通ってみて、お互いの文化を共有することができるグローバルな学校だと感じます。
現地には私たち以外にも多くの留学生が来ていました。

朝は毎日車で30分ほどかかるホストシスターの学校へ行く際に一緒にホストマザーに学校まで車で送ってもらっていました。
授業は70分制で4時間あり、2限と3限の間に40分間のファーストブレイク、3限と4限の間に30分間のセカンドブレイクがありました。
その間はバディとご飯を食べたり、小さなボールを手のひらに当てて跳ね返して遊ぶハンドボールというスポーツをしたり、お菓子を食べたりしました。

また、生徒が各教室を移動する方式で、いろいろな教科の授業をバディと受けました。
特に興味深かったのがフリスビーの授業です。とても広大で綺麗な芝生の上でフリスビーを投げ合いました。オーストラリアの土地の広さや自然豊かさが存分に生かされた授業で、初めて挑戦したのですが新鮮で楽しかったです。
試合では、チーム戦で戦いました。味方にまっすぐパスをつなげたり、フリスビーのカーブを予測してキャッチしたりするのは難しかったです。この授業で他の留学生の子やそのバディの子と仲良くなり、お気に入りの日本のアニメの話をしました。思った以上の日本のアニメの知名度に驚きました。

日本語の授業では動詞の活用や助動詞を学びました。あまり普段意識して使っていなくても、ちゃんと法則があり、日本語の難しさを実感しました。

また、バディたちに助動詞の使い分けを英語で質問された時に、英語で日本語の説明をするのはとても難しかったのでしっかり理解してから英語で説明できるように努めたいです。

バディは週ごとに変わりますが、バディによって受ける授業が違うため、受けたい授業があり希望すれば、他のバディと組むこともできます。
バディの中では日本のアニメやジブリ、音楽が人気で、たくさんの作品を知っていて驚きました。

Farewell partyではSayonara Saitamaと書かれたケーキを食べながら、現地の先生が作ってくれた、空港に到着した時の映像から今までの動画をみんなで見ました。
みんなで思い出を作ることができた嬉しさと同時に、あっという間の留学を振り返って寂しさを感じました。



4 遠足について

私たち6人は計5回遠足へ行きました。そしてそのほとんどがバディたちと一緒でした。

まず1回目はLone Pine Koala Sanctuary という動物園です。
ここではコアラをなでたり、カンガルーにご飯をあげたりすることができます。
また、ウォンバットなどのオーストラリアならではの動物もたくさん見られました。

2回目はBanyavileという保護公園に行きました。運が良ければ野生のコアラを見ることができる、自然豊かな落ち着いた場所です。耳を澄ますと鳥の鳴き声がよく聞こえました。私はティータイムの時に食べた、周りにココナッツがまぶされたラミントンというお菓子が気に入りました。

3回目はSouth bankという川沿いのエリアに行きました。
The wheel of Brisbaneはとても巨大な観覧車でバディや学校の先生、私たちで乗りました。日本では通常一周回って終わりだと思いますがなんとここの観覧車は5周しました。
上の方で途中止まることがあるので怖さもありましたが綺麗なBrisbane 一帯を見渡せました。
夜にはホストファミリーも一緒にアボリジニのショーを見ました。



4回目はgold coastにあるDreamworldに行きました。
オーストラリア最大級の遊園地で、ジェットコースターなどのたくさんのアトラクションに乗りました。
日本よりも待ち時間が圧倒的に短く、中には15分ほどで乗れたものもあり、とても楽しめました。

5回目はMt.coo-thaに行きました。
景色一帯がとても綺麗で、ブリスベンの街並みを一望することができます。
また、みんなで一緒に景色を見ながらアイスクリームを食べました。日本にはない味がたくさんあり、新鮮でした。

5 ホームステイについて

私は親善大使2人でマザー、マザーのパートナー、シスター2人、愛犬2匹の家にホームステイしました。
家族全員が温かく迎え入れてくれて、感激しました。
ホストマザーは明るくユーモアのある人、マザーのパートナーはおおらかで優しい人で、シスターたちもフレンドリーに接してくれました。
初めはたどたどしい英語でしたが、自分から恐れず英語を楽しく話すことを意識していたら自然と会話が続くようになりました。
家では、カードゲームをしたり、映画を見たりすることが日常でした。
また、ホストシスターが大のモアナ好きだったので、車ではよくモアナの曲をみんなで歌っていました。
学校が終わる時間が早く、いつもホストシスターの迎えに行ってから家に帰ってもまだ16時だったので家に帰ってゆっくりできる時間があり、私の息抜きになりました。

週末は朝が遅めで、落ち着いて過ごすことが多かったです。
また夜にジェラート屋に行ったことも良い思い出です。



6 食べ物について

オーストラリア初日にAustralian BBQという食パンにソーセージをはさんだものを食べてみました。
オーストラリアでは定番の料理だそうで、遠足のティータイムの時にもたくさん食べました。
普通の学校の日はTuck shopという購買でお昼をもらっていました。
色々なメニューがあり、ボリューミーで美味しかったです。
家ではホストファミリーと共によくラムを食べました。
オーストラリアならではのもので、とても美味しくてお気に入りです。
そしてオーストラリアといえばのvegemiteも食べました。
パンにバターとvegemiteを塗って食べるのが美味しいと現地の人は言っていたので試しに食べてみるとクセの強い味だったのでぜひ試してみてください。
ホストマザーはvegemiteよりも甘いというpromite がお気に入りだそうです。
またホストファミリーのお気に入りの日本食のお店に行き、ラーメンを食べました。
日本食はオーストラリアでも人気なことを実感しました。
休日には埼玉のうどんやそばをホストファミリーに振る舞いました。
優しい味わいのうどんとそばを美味しいと言って食べてくれて嬉しかったです。

7 埼玉親善大使として

私が埼玉親善大使として留学中に行ったことは主に2つあります。
1つ目は学校の日本語の授業で埼玉についての発表をしたことです。
時間が限られている中でも、親善大使6人でYerongga高校の生徒に埼玉についてのクイズ、歌、書道、折り紙の体験を行いました。
また、私は埼玉県のマスコットキャラクターであるコバトンや他にもご当地キャラクターのシールを印刷して持っていき、現地の生徒にたくさん配りました。バディは私が配ったコバトンのシールをパ



ソコンや筆箱に貼ってくれていて嬉しかったです。

2つ目はInstagramでの情報発信です。
@tamaki._333というアカウントで毎日その日のことを投稿しました。
留学生活について興味のある方、次年度このプログラムへの応募を考えている方はぜひ見てください！

7 Brisbaneでの新しい気づき

1つ目はお店が閉まるのが早いことです。
週末にショッピングモールやお土産屋が立ち並ぶ方へ遊びに行った際、まだ15時ごろなのにも関わらず、お店が閉まり出していました。日本ではもっと長く開いているため、この光景にとても驚きました。その分、夜に外を出歩いている人は少なく、昼のブリスベンのにぎやかさとは一変して、のどかな雰囲気でした。
ホストマザーはこの街の様子を見て"People in Brisbane are all sleepy."と冗談交じりに言っていて、時間がゆるやかに流れていくブリスベンの日常を肌で感じました。

2つ目は、学校でのスマホ禁止です。
私たちが通った学校では、スマホを使うことが禁止されていました。また、基本的には授業でパソコンを使うことが多いのですが、話を聞いてほしいときには先生がパソコンを閉じてと言っていたことも印象的です。
そのおかげで、特に学校の休み時間などはみんなが体を動かしたり、友達と話したりして活気のある雰囲気でした。

3つ目は発展している街と自然豊かな郊外の両立です。
ブリスベンは都会的でショッピングモールなどもあるにぎやかな場所も、私たちが遠足で訪れたような山や森などののどかな場所も両方持ち合わせています。
利便性が高いだけでなく、近い範囲で大自然を感じることもできるのがブリスベンの良さだと思います。

8 最後に

毎日が充実した約2週間の留学でした。
私たち親善大使6人でともにオーストラリアで最高の経験をして、笑顔で毎日を過ごし、たくさんの人と出会えたことは本当に貴重な時間となりました。
私はこのプログラムに参加することができて本当に良かったと思っています。
オーストラリアでの出会いだけでなく、親善大使6人ともたくさんの時間を共有しました。
自分自身の成長だけでなく、クイーンズランド州の人々に埼玉県の魅力を伝えたいと思い参加したこのプログラムで私は私が思っていた以上のことを学ぶことができ、埼玉にみんなが関心を持ってくれました。
大事なのは英語力だけではないと何度も気付かされました。
興味を持って楽しんで会話をすることと、感情を素直に表現することが一番相手に伝わる方法だと思います。絶対伝わるという自信を持つことも必要だと感じました。
これからも努力に励み、周りの人との交流を大切にしていきます。
このプログラムに関わった全ての方に心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。